

2012年度決算説明(総括)

2013年4月25日

株式会社 クラレ

2012年度実績

[億円]

	2012年度	2011年度	2012年度見通し (3Q決算時)
売上高	3,694	3,690	3,800
営業利益	492	547	500
経常利益	486	539	485
当期純利益	288	315	295
期中平均為替レート			
円/ドル	83	79	80
円/ユーロ	107	109	102
国産ナフサ価格/k1	57千円	55千円	56千円

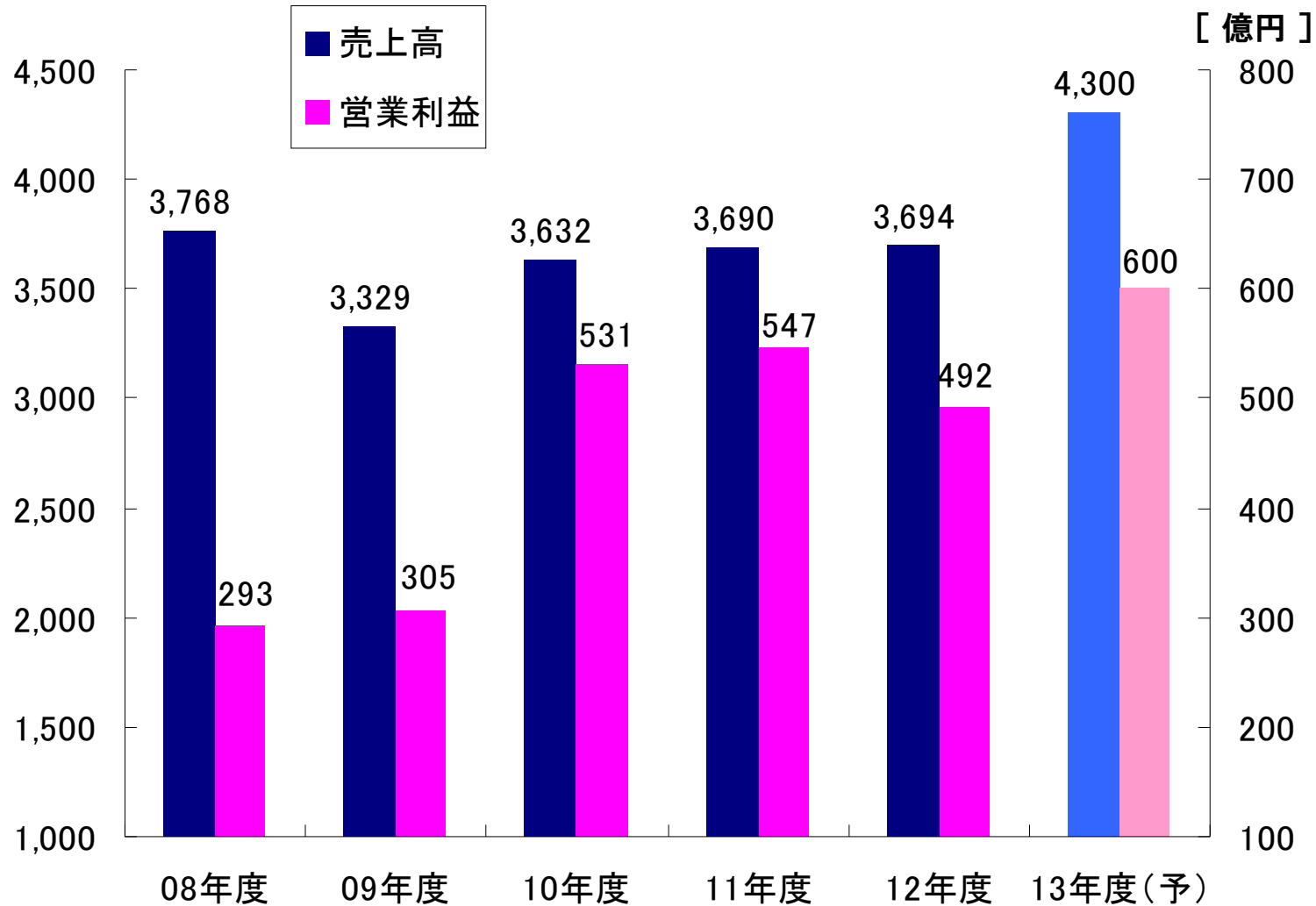
2013年度通期業績予想

売上高	4,300億円
営業利益	600億円
経常利益	585億円
当期純利益	350億円

景気・需要の回復、高付加価値品の伸びに加え、全社的コスト削減に取り組み、売上高・利益とも過去最高を目指す。

売上高・営業利益推移

中期計画で目指した増収増益の成長トレンドへの回帰を図る



2012年度の主要施策実績

- ・光学用ポバールフィルム差別化推進(薄膜化、広幅化等)
- ・MonoSol社買収(増設決定)→ポバールフィルム事業拡大
- ・〈ジェネスタ〉自動車用途の拡大および一般照明用途への展開
- ・歯科材料 新潟生産拠点の稼働開始

- ・北米ポバール樹脂新設決定
- ・〈エバール〉アジア市場拡大:タイ現地法人新設
- ・液状ゴム増設決定
- ・バラスト水管理システム(国交省の最終承認取得)本格販売開始

- ・植物由来原料(ファルネセン)の液状ゴム開発

2013年度重点課題

「GS-III」の主要経営戦略に基づく具体的施策を継続実施

技術革新

- ◆光学用ポバールフィルム差別化品の安定生産・拡販
- ◆〈ジェネスタ〉新規用途拡販
- ◆新規高速伝送回路向け素材〈ベクスター〉能力増強・拡販
- ◆新規液状ゴム(ファルネセン)の販売開始
- ◆ビニロン新プロセス開発進展

地域拡大

- ◆ポバール北米市場の拡大
- ◆〈エバール〉の新興国市場拡大
- ◆水溶性ポバールフィルムの世界的展開

外部資源活用

- ◆歯科材料におけるノリタケとの事業統合効果拡大
- ◆米国Amyris社との協業(ファルネセン)
- ◆中国合弁企業によるアクア事業の拡大
- ◆クレハとの負極材事業拡大

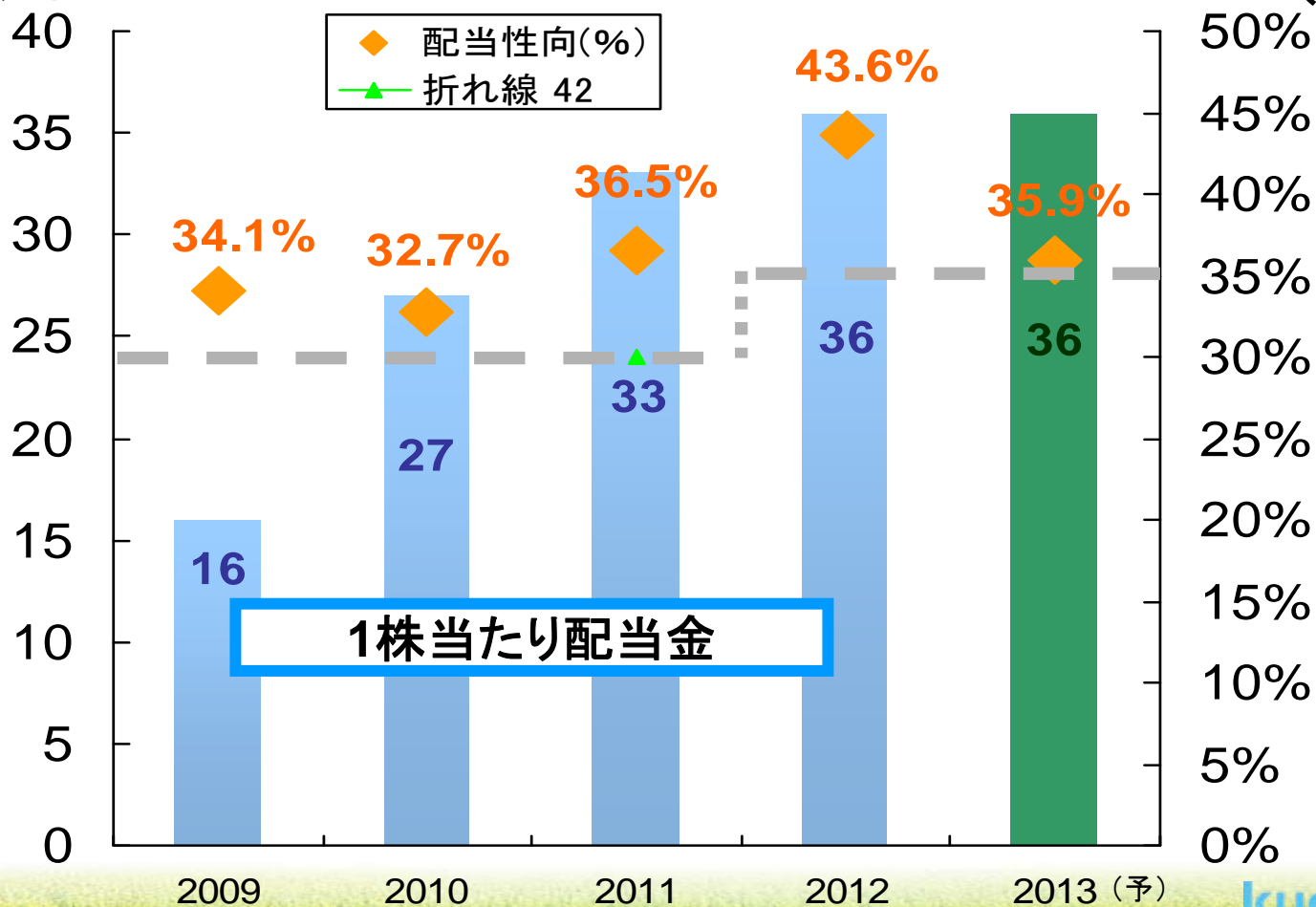
2013年度配当金について

36円／株予定

(中間;18円、期末;18円)

(配当金:円/株)

(配当性向)



2012年度決算説明

2013年4月25日

株式会社 クラレ

2012年度決算概要①

[億円]

	2012年度	2011年度	増減	
売上高	3,694	3,690	5	(1.0%)
営業利益	492	547	▲55	(▲10.1%)
経常利益	486	539	▲54	(▲9.9%)
当期純利益	288	315	▲27	(▲8.5%)
ROE	7.6%	9.0%	▲1.4%	
ROA	8.9%	10.6%	▲1.7%	
営業利益率	13.3%	14.8%	▲1.5%	

2012年度決算概要②

[億円]

	2012年度	2011年度	増減
営業CF	669	426	243
投資CF*	▲452	▲379	▲73
フリーCF*	217	47	170
M&A	▲312		▲312
1株当り当期純利益	82円62銭	90円35銭	▲7円73銭 (▲8.6%)
1株当り純資産	1,132円07銭	1,033円48銭	98円59銭 (9.5%)
設備投資(決定ベース)	619	462	157
設備投資(受入ベース)	455	390	65
減価償却費	310	307	3
研究開発費	164	162	2

*投資CF、フリーCF: 運用資金、M&A関連を除く

営業利益増減分析

2012年度実績

492億円

数量	30
操業度	▲15
売値、銘柄構成	▲20
原燃料	6
為替	▲5
償却費	▲3
経費その他	▲48



2011年度実績

547億円

原料及び為替

	11年度実績	12年度実績
国産ナフサ／kl	55千円	57千円
ドル(平均)	79 円	83 円
ユーロ(平均)	109 円	107 円

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2012年度		2011年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
樹脂	1,552	489	1,489	499	63	▲10
化学品	790	64	749	91	41	▲27
繊維	572	12	634	11	▲62	1
トレーディング	1,088	34	1,122	35	▲34	▲1
その他	644	40	664	57	▲20	▲17
調整額	▲951	▲146	▲968	▲145	17	▲1
合計	3,694	492	3,690	547	4	▲55

2012年度主要事業概況

ポバール樹脂	世界的な景気減速を背景に需要低迷
ポバールフィルム	光学用ポバールフィルムは期後半に需要が回復し、販売量が拡大 水溶性ポバールフィルムは順調に推移
<エバール>	堅調に推移 特に自動車用途で拡大
メタクリル樹脂	昨年度後半からの市況低迷の継続および原燃料上昇の影響を受けた
イソプレン	液状ゴムが拡大したものの、熱可塑性エラストマー<セプトン>、ファインケミカルは、欧州・アジアの需要が低調に推移する中で、競合激化の影響を受けた
<ジエネスタ>	LED反射板・コネクタ用途が堅調に推移し、自動車用途も拡大
メディカル	歯科材料は堅調に推移
ビニロン	アスベスト代替のFRC(繊維補強セメント)用途および自動車ブレーキホース用途が欧州・アジア市場の停滞を背景に需要が低迷
<クラーノ>	ランドセル用途が好調に推移したが、靴用途の需要が低調 環境対応型新プロセスへの集約、既存プロセスの中国移管など、構造改善を推進

貸借対照表①(資産の部)

[億円]

13年3月末 12年3月末 増減

流動資産	2,572	2,691	▲119
固定資産	3,300	2,542	758
資産合計	5,872	5,232	639

＜参考＞期末日為替レート

	国内		海外子会社	
	13.3末	12.3末	12.12末	11.12末
円/ドル	94	82	87	78
円/ユーロ	121	110	115	101

貸借対照表②(負債・純資産の部)

[億円]

	13年3月末	12年3月末	増減
流動負債	1,114	817	298
固定負債	743	752	▲10
負債合計	1,857	1,569	288
純資産合計	4,015	3,663	351
負債・純資産合計	5,872	5,232	639

＜参考＞期末日為替レート

	国内		海外子会社	
	13.3末	12.3末	12.12末	11.12末
円/ドル	94	82	87	78
円/ユーロ	121	110	115	101

2013年度業績予想

[億円]

	上期	下期	通期
売上高	2,050	2,250	4,300
営業利益	270	330	600
経常利益	265	320	585
当期純利益	160	190	350
1株当り当期純利益	—	—	100円33銭
1株当り配当	18円	18円	36円

【参考】	設備投資(決定ベース)	450
	設備投資(受入ベース)	615
	減価償却費	370
	研究開発費	175

営業利益増減分析

2013年度予想

600億円

数量	100
操業度	40
売値、銘柄構成	10
原燃料	▲20
為替	35
償却費	▲60
経費その他	3

108億円



2012年度実績

492億円

原料及び為替

12年度実績

13年度前提

国産ナフサ／kl	57千円	61千円
ドル(平均)	83 円	95 円
ユーロ(平均)	107 円	125 円

セグメント変更について

旧セグメント(～2013年3月期)

新セグメント(2014年3月期～)

樹脂	* ポバール製品群 ＜エバール＞	⇒	ビニルアセテート	* ポバール製品群 ＜エバール＞
化学品	メタクリル イソプレンケミカル ＜セプトン＞ ＜ジェネスタ＞ メディカル	⇒	イソプレン	イソプレンケミカル ＜セプトン＞ ＜ジェネスタ＞
繊維	ビニロン ＜クラリーノ＞ ＜クラフレックス＞ ファスニング	⇒	機能材料	メタクリル メディカル ＜クラリーノ＞
トレーディング	ポリエステル トレーディング事業	⇒	繊維	ビニロン ＜クラフレックス＞ ファスニング
その他	活性炭 アクア事業 エンジニアリング その他	⇒	トレーディング	ポリエステル トレーディング事業
		⇒	その他	活性炭 アクア事業 エンジニアリング その他

* ポバール製品群(ポバール樹脂、ポバールフィルム、PVB樹脂・フィルム)

【ご参考】2013年度予想（新セグメント別）

[億円]

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニル アセテート	940	970	1,910	260	280	540
イソプレン	255	290	545	25	50	75
機能材料	260	285	545	10	20	30
繊維	215	245	460	10	10	20
トレーディング	540	590	1,130	15	20	35
その他	310	350	660	20	20	40
調整額	▲470	▲480	▲950	▲70	▲70	▲140
合計	2,050	2,250	4,300	270	330	600

【ご参考】 2012年度実績（新セグメント別）

[億円]

	売上高	営業利益
ビニルアセテート	1,552	489
イソプレン	448	39
機能材料	451	19
繊維	462	18
トレーディング	1,088	34
その他	644	40
調整額	▲951	▲146
合計	3,694	492

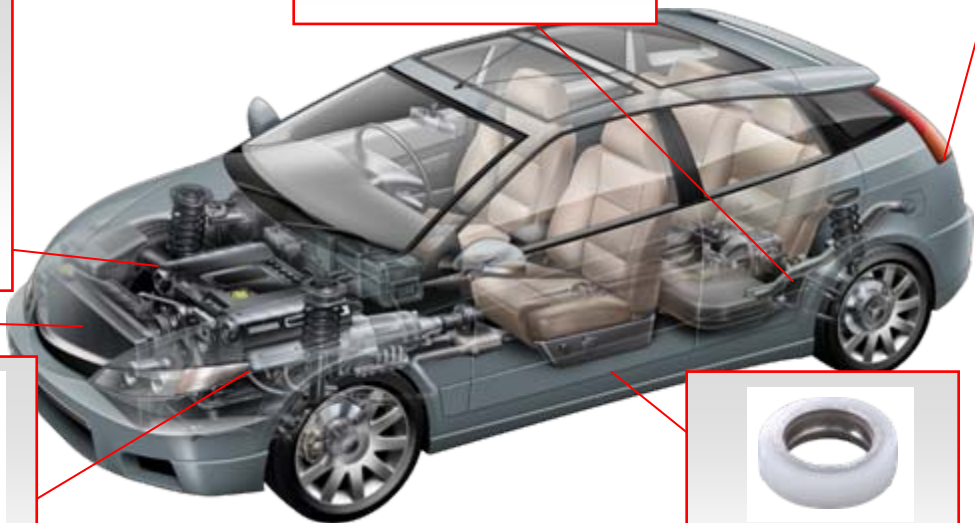
MonoSol社買収、事業拡大

- ・12年6月に米国のポバールフィルムメーカーであるMonoSol社を買収
- ・同社は水溶性フィルムを得意としており、主な用途は、洗剤個包装、農薬・染料等の個包装、ランドリーバッグ、人工大理石離型用
- ・買収初年度に当たる12年度下期から利益貢献
- ・洗剤個包装の需要成長に伴い事業拡大中、能力増強を予定



＜ジェネスタ＞自動車部材向け展開

- ・耐熱性、低吸水性、耐薬品性、ガスバリア性、高摺動性(摩擦に強い)等の特長を生かし、自動車部材に展開
→ 金属代替により車体の軽量化に貢献
- ・燃料系、冷却系、摺動系部品を中心に拡大中
- ・販売数量は14年度で12年度比約2倍を見込む



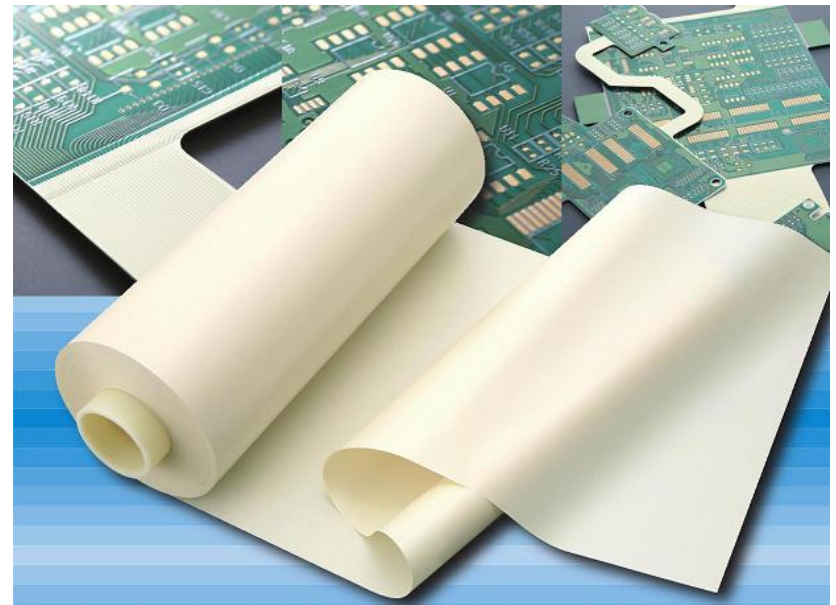
LED向け<ジェネスタ>新グレード

- ・ 樹脂組成を変更し、耐光性能向上
- ・ 既存設備を一部改造し、生産開始(12年度上期～)
- ・ 13年度より順次市場投入
- ・ 新旧両グレード<ジェネスタ>トータルの販売数量は14年度で12年度比約1.5倍を見込む



高速伝送回路向けLCPフィルム<ベクスター>

- 高速伝送特性と薄型化を両立
- 高性能ノートPC、タブレットPC、スマートフォンでの採用を見込む
- 大口ユーザーにて回路性能を評価中
- 銅張積層板メーカー、フレキシブル回路基盤メーカーを中心としたサプライチェーンを拡大中
- 生産技術開発と生産能力向上のため、13年度に設備投資を予定



新規バイオ系原料(ファルネセン)液状ゴム(LFR)

- ・ タイヤ用途を中心に液状ゴム事業がここ数年で拡大
- ・ イソプレン(LIR)、ブタジエン(LBR)に次ぐ新規モノマー使用による液状ゴム製品のラインアップのためバイオ系原料に着目
- ・ 米国バイオ系ベンチャー企業(Amyris社)と提携、開発開始
- ・ 主な用途ターゲットは低燃費タイヤ
 - LFRは、LIRやLBRに比べてタイヤ用ゴムと反応しやすく、添加することによりフィラー(タイヤの形態安定性を高めるためのゴムパーツ)を固定する力が強くなる
そのため、フィラー同士の摩擦による熱ロスが小さくなり、低燃費化を図ることができる
 - 国内外の主要タイヤメーカー10数社において性能評価中
- ・ 13年度下期からの販売開始を見込む(18年には100億円規模に育成)



未来に化ける新素材。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。